

(様式1)

個別施策評価調書

| | | |
|-----|-------|---|
| 主管部 | 保健福祉部 | |
| 関係部 | - | - |
| | - | - |

| | |
|---------|--|
| 基本施策 | I-1 健康・福祉サービスを強化する |
| 個別施策 | ③ 障害者の地域生活支援 |
| 個別施策の方向 | 障害のある人もない人も、すべての市民が共生できる社会の実現に向けて、障害福祉サービス等の充実を図り、障害のある人の日常生活及び社会生活の総合的な支援の充実に努める。 |

| 決算及び事業費内訳 (単位：千円) | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------|-------|-----------|------|---------|-------|-----------|-------|---|------|
| H27年度 | 決算 | 事業費 | 1,879,378 | 人件費 | 35,253 | 事業コスト | 1,914,631 | | | |
| | 事業費内訳 | 国庫支出金 | 950,926 | 県支出金 | 465,968 | 地方債 | 0 | その他特財 | 0 | 一般財源 |
| H28年度 | 決算 | 事業費 | 2,002,134 | 人件費 | 34,963 | 事業コスト | 2,037,097 | | | |
| | 事業費内訳 | 国庫支出金 | 1,005,963 | 県支出金 | 494,209 | 地方債 | 0 | その他特財 | 0 | 一般財源 |
| H29年度 | 決算 | 事業費 | 2,132,625 | 人件費 | 33,507 | 事業コスト | 2,166,132 | | | |
| | 事業費内訳 | 国庫支出金 | 1,030,980 | 県支出金 | 517,736 | 地方債 | 0 | その他特財 | 0 | 一般財源 |

| 市民満足度 (市民意識調査) | H27年度 | H29年度 | 前回比 |
|-----------------------|-------|-------|------|
| つくば市の現状やまちづくりへの取組について | 17.7% | 18.0% | 0.3% |
| 3) 障害者の福祉 | | | |

| 平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果 | | |
|------------------------|--|------------------------------|
| 総合評価 | B | 施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。 |
| 提言 | 障害者の地域生活支援の中で展開している各種事業名にあつては、チャレンジアートのような身近に感じるネーミングを検討されたい。また、事業効果を測る指標にあつては満足度を評価指標とするなど工夫されたい。なお、バリアフリーの観点も大変重要な要素であり、積極的に取り組まれたい。 | |

| | |
|------|---|
| 取組概要 | <p>「チャレンジアートフェスティバル」は、障害者（児）の社会参促進事業として、当事者が制作した作品展示及び演劇等による舞台発表を実施し、一般市民の来場者の参加による障害福祉に対する市民の意識啓発及び理解の推進を図る。</p> <p>「障害福祉サービス事業」は、自己決定の尊重と意思決定の支援を行い、障害者総合支援法に基づく各種サービスについて、障害者にとって真に必要なサービスの支給決定を行い、自立に向けた社会参加の実現を図る。</p> <p>「障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業」は、障害者支援施設等における日中一時預かりサービスの利用に要する費用の全部又は一部を助成することにより、障害者（児）を居宅で介護する家族の身体的及び経済的負担の軽減を図る。</p> <p>「障害者移動支援サービス利用費助成事業」は、外出時に付き添いを必要とする障害者（児）へ、移動支援サービスの利用に要する費用の全部又は一部を助成することにより、社会参加の拡大と余暇時間の充実を図る。</p> <p>「おひさまサンサンフェスティバル」 高齢者事業と合同でスポーツやレクリエーション活動、障害者が創意工夫を凝らして制作した作品の展示・販売等を行い、一般市民及びボランティア協力団体との交流を図る。</p> |
|------|---|

| | |
|----|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジアートフェスティバル」：障害者（児）の社会参加を促進する事業であり、芸術・文化活動等を通して、障害者（児）の社会参加の機会を創出することができた。また、市報・チラシ配布等の広報活動により、障害者福祉に対する市民の意識啓発及び理解が図られた。 ・「障害福祉サービス事業」：障害福祉サービスの利用を希望する障害者の申請に基づき、必要とする障害福祉サービスを支給決定することで、自立に向けた社会参加の実現を図ることができた。 ・「障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業」 障害者（児）を在宅で介護する家族の一時的休息等により、身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図ることができた。 ・「障害者移動支援サービス利用費助成事業」：障害者（児）の社会参加の機会拡大や日常生活及び余暇時間の充実を図ることができた。 ・「おひさまサンサンフェスティバル」：在宅又は施設における障害者（児）の社会参加を促進し、障害福祉に対する市民の意識啓発及び理解を推進することができた。また、市報・チラシ配布等の広報活動により、障害者福祉に対する市民の意識啓発及び理解が図られた。 |
|----|---|

| | |
|-------|---|
| 今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジアートフェスティバル」：年々参加者が増え事業の効果は上がっているが、当事者や関係者以外の参加が少ない。 ・「障害福祉サービス事業」：障害福祉サービスを利用していただ方が、介護保険の該当になる年齢に達した場合、同様のサービスについては、基本的に介護保険のサービスに切り替えることになり、制度の説明を行っているが、制度が複雑なため理解いただくのに時間がかかる。 ・「障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業」：年々事業所の充実は図られているが、重症心身障害児や医療的ケアに対応した事業所が不足している。 ・「障害者移動支援サービス利用費助成事業」：助成金の支給対象とならない外出について、利用者及び事業所へ周知しているが、制度対象外の助成金の請求がある。 ・「おひさまサンサンフェスティバル」：平成27年度より、カピオ（屋内会場）で事業を実施しているが、屋外会場での実施を望む意見も寄せられている。 |
|-------|---|

| | |
|------|---|
| 改善目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジアートフェスティバル」：当事者・来館者以外の一般来館者数の向上を図るため、広報活動を充実させていく。 ・「障害福祉サービス事業」：障害福祉サービスと介護保険サービスの共生型サービスの開始に伴い、引き続き制度の説明をわかりやすく伝えていく必要があるため、相談支援事業者やケアマネージャーとの連携を強化していく。 ・「障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業」：今後も、各障害ごとに市内外の事業所と協定を結び、利用者に告知をしながら利用促進を図っていく。 ・「障害者移動支援サービス利用費助成事業」：実施基準を含めた制度内容について、更なる周知と、事業所に対する助言・指導を行い、適切な運用を求めていく。 ・「おひさまサンサンフェスティバル」：屋外会場で実施する要望があったことからメリット・デメリットを十分協議して、屋外開催の方針で定めていく。なお、屋外での実施については、合理的配慮の提供に心がけたい。 |
|------|---|

| 自己評価（所管部署評価） | |
|--------------|--|
| 自己評価記述 | <p>「障害福祉サービス事業」、「障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業」、「障害者移動支援サービス利用費助成事業」については、障害者総合支援法に基づき、障害者一人ひとりの状況にあった適切なサービス費の給付が効果的に行われている。</p> <p>「チャレンジアートフェスティバル」、「おひさまサンサンフェスティバル」については、在宅及び施設における障害者（児）のスポーツ・レクリエーション・芸術・文化活動等を通して、障害者（児）の社会参加の機会を創出することができた。</p> |